

機関リポジトリコミュニティ 活性化のための情報共有



主担当機関: 北海道大学
分担機関: 大阪大学 金沢大学
連携機関: 小樽商科大学 広島大学

鵜澤 和往（北海道大学附属図書館）
drf-info@lib.hokudai.ac.jp

1. 情報共有の強化

1. メーリングリストの運営
2. ウェブサイトの運営・充実
3. オープンアクセス関連海外論文の和訳

1. 情報共有の強化 (1)

- メーリングリストの運営

drf@ml.hokudai.ac.jp

- 目的:

オープンアクセス思潮, 機関リポジトリの広報, コンテンツ収集, 権利処理, 事業化, システム構築, 国内外の動向・ニュースなど, 機関リポジトリの構築に関するあらゆる話題について, 自由に情報交換・意見交換を行う

- 登録アドレス数: 691アドレス

- メール件数: 2,429件

- アーカイブを公開

1. 情報共有の強化 (2)

- ウェブサイトの運営・充実
 - アクセス数: 累計742,984ページビュー(2011年3月)
- 内容の大幅な追加・整理
 - 「学術機関リポジトリとは」
 - 「より使われるためには」
- 英語版ページの充実
 - DRFの活動課題
 - イベントプログラム
- 月刊DRFの公開



<http://drf.lib.hokudai.ac.jp/drf/>

1. 情報共有の強化 (3)

- オープンアクセスに関する海外論文の和訳
 1. Judith Broady-Preston, Joanna Felice, Susan Marshall. "Building better customer relationships."
 2. Mei-Yu Wang. "Introducing CRM into an academic library."
 3. Rebecca Starkey and Barbara Kern. "The class librarian."
 4. Peter Suber. "Open Access in 2010."
 5. Leslie Carr and Tim Brody. "Size isn't Everything."
 6. Philip M. Davis and Matthew J.L. Connolly. "Institutional Repositories."
 7. Chuck Thomas and Robert H. McDonald. "Measuring and Comparing Participation Patterns in Digital Repositories."

2. 日本の活動を世界にアピール

- 英語版ウェブページ(前述)
- 国際会議への出席
- 国際会議での口頭発表
- 英文パンフレット
「hita-hita: Institutional
OA Advocacy in Japan」
の作成・配布



2. 日本の活動を世界にアピール (1)

- 国際会議への出席

- Berlin 8 Open Access Conference (10月25-27日中国北京)
- SPARC Digital Repositories Meeting 2010 (11月8-9日米国ボルチモア)
- Society for Scholarly Publishing 2010 Fall Seminar (11月10-11日米国ワシントン)

- 国際会議での口頭発表

- Berlin 8 Open Access Conference

2. 日本の活動を世界にアピール (2)

- 英文パンフレット「hita-hita: Institutional OA Advocacy in Japan」の作成・配布
- 海外769機関へ送付
- COARから追加発送依頼
- 海外の関連メーリングリスト、ニュースサイトで紹介される
- 米国SPARC議長からSPARC運営委員ML宛にパンフレットの内容を絶賛するメールが送られる
- ⇒ 大きな反響と高い評価

3.OAWにおけるアドボカシー活動(1)

- OAW: Open Access Week (OA週間)
 - SPARC主導
- オープンアクセスウィーク2010
 - 平成22年10月18日(月)
~24日(日)
 - 世界94カ国、900名近い参加



3.OAWにおけるアドボカシー活動(2)

- オープンアクセスウィーク2010
 - 日本窓口は、大阪大学が担当
 - 広報資料の作成・送付、イベントへ講師派遣等
 - 国内のOA週間サイト
 - <http://cont.library.osaka-u.ac.jp/oaw/>
 - 写真サイト
 - http://www.flickr.com/photos/df_museum/sets/72157625209931676/



3.OAWにおけるアドボカシー活動(2)



4. 海外機関との連携

- COARへ継続して加盟
 - COAR: Confederation of Open Access Repositories
- COARの各ワーキンググループにメンバーを輩出、各活動に参画
 - 副議長、WG1 (Repository contents: 優良事例の共有等), WG2 (Interoperability: 相互運用性の向上検討等), WG3 (Repository and Repository Networks Support & Training: 人材育成のための研修等)

4. 海外機関との連携



5. 今後の展望

- ・担当者の機関リポジトリに対する理解を深める
- ・担当者以外への機関リポジトリの浸透を図る



情報共有の基盤を継続